

## 挨拶：堀井奈津子（厚生労働省 雇用環境・均等局長）

ただいまご紹介いただきました、厚生労働省雇用環境・均等局長の堀井奈津子と申します。本日、開催をされます東日本の周知フォーラムにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

冒頭、ご挨拶に先立ちまして、本年の1月1日に発生した令和6年能登半島地震の被害により、お亡くなりになられた方々に、謹んでお悔みを申し上げます。また、被害に遭われた方々、全ての方々に、心からお見舞いを申し上げます。

厚生労働省といたしましても、1月1日の地震の発生直後から省内一丸となってチームを組んで対応に当たっております。まだまだ現地の状況は厳しく、現地の方々のニーズも様々に変化をしている状況と思いますが、現地の方々のお気持ちに寄り添って引き続き強力で支援を進めていきたいと考えております。

さて、本日の労働者協同組合周知フォーラムにおきましては、皆様大変お忙しい中、多くの方々がいらしてくださっております。

ご紹介させていただきますと、まず、ご挨拶と取組紹介に、埼玉県の大野知事、そして深野課長、つくば市の五十嵐市長、また、基調講演には京都大学の藤原先生、そして、事例紹介およびパネルディスカッションにおきましては、現在現場で活躍されている3団体の皆様方や、コーディネーターとしてワーカーズ・コレクティブネットワークジャパンの藤井代表、コメンテーターとして日本総合研究所の小島スペシャリスト、そして、閉会のご挨拶としては、日本労働者協同組合連合会の古村理事長にお越しいただきまして、皆さまのご協力をいただくことになっております。

また、開催に当たっては、本日の開催地の埼玉県の皆さま方を初めとして、つくば市、そして全国の都道府県の皆さま方に周知広報等でご協力をいただきました。まず、この場を借りて、厚くお礼を申し上げます。

さて、労働者が組合員として出資をし、その意見を反映して自ら従事することを基本原理とする労働者協同組合法が令和4年10月に施行されてから、1年4カ月を迎えております。労働者協同組合の数は着実に増えてきており、1月22日時点において、全国で計70法人の労働者協同組合が設立されております。

これまで様々な活動をしている労働者協同組合が設立されておりますが、例えば、荒廃山林を整備したキャンプ場の経営、葬祭業、家事代行、廃棄予定だった新鮮な地魚の惣菜化

など、まさに地域の困りごとや様々なニーズに応じて多種多様な取組が自主的に展開されております。

労働者協同組合には、働き方や、仕事内容を組合員全員で話し合っ決めていくという特色があり、こうした組合員の話し合いを通して、多様な働き方が可能となる職場環境が整備され、例えば、女性や高齢者、働きづらさを抱えた方々の就業機会の創出につながる取組も生まれております。

本日も登壇いただく団体の皆様から、これから大変興味深いお話を伺えることと思います。私も資料を拝見いたしました。不登校児のフリースクールの運営や、新しい庭作りへの挑戦、そして、地域での高齢者の方々の活躍促進。そういった本当に様々な活動をなさっており、今後の可能性を本当に力強く印象づけられたところでございました。

私ども厚生労働行政の立場から申し上げますと、労働者協同組合というのは、地域における一人ひとりの希望に応じて選ぶことができる働き方、新しい働き方、ひいては、生き方の選択肢であり、我が国において今後一層求められる地域共生社会を支える不可欠の基盤になるものと考えております。

さらに、法律が施行されて1年が経過しましたが、これは非常に重要なタイミングと申し上げます。まだ生まれたばかりの労働者協同組合が、関係する様々な法令をきっちりと遵守をして、何よりも働く方々が安全に、安心して、そして働きがいとやりがいを持って自分らしく働ける、そういう新しい働き方として社会に非常に重要な存在になっていくことを心から期待をしております。

そのため、厚生労働省では、本年度、特設サイトや電話相談窓口の運営に加え、今日も含めて全国で二か所の周知フォーラムの開催、設立を支援するためのオンラインセミナーの開催など、様々な支援を実施しております。

今日は、埼玉県内に留まらず、オンラインも含めて全国から多くの方々にご参加いただいております。今回のフォーラムの開催を通じまして、より多くの方々に労働者協同組合の魅力とその可能性について理解や共感を広げる機会としていただきたいと思いますと考えております。

今後も厚生労働省としては、労働者協同組合の活用促進を通じて、多様な働き方を実現しつつ、地域の課題の解決のために活動される方々の選択肢が広がるよう、取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりますが、労働者協同組合の力強く、そして地域に根差した温かい発展を心から

祈念いたしまして、本日お集まりの皆様方の増々のご健康とご発展、そして冒頭にも、お話をしましたが、被災をされた地域の皆さまに 1 日も早く平和な毎日が戻ることを改めて祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日はご参加をいただき誠にありがとうございました。